

平和首長会議加盟自治体の皆様

平素より平和首長会議の活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。  
平和首長会議の近況をお知らせします。

<<今号の内容>>

\*\*\*\*\*

- ◆平和首長会議会長が核軍縮に関する国連公開作業部会に出席
- ◆オバマ米国大統領の広島訪問が発表されました
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース（中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事）
- ◆加盟都市の活動紹介
- ◆平和首長会議情報システムについてのご案内
- ◆平和首長会議メンバーシップ納付金に御協力をお願いします
- ◆被爆樹木の苗木等の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内
- ◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！
- ◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！
- ◆4月の平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟自治体数：161カ国・地域 7,042自治体

\*\*\*\*\*

\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

ホームページ：<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

「いいね！」をお待ちしています。

\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*

=====

#### ◆平和首長会議会長が核軍縮に関する国連公開作業部会に出席

[5月2日～4日 ジュネーブ市（スイス）]

=====

5月2日から13日まで、スイス・ジュネーブ市の国連欧州本部において、核兵器の廃絶に向けた法的措置などを議論する「多国間核軍縮交渉の前進に関する公開作業部会」の5月会合が開催されました。

平和首長会議を代表し、会長である松井一實広島市長が2日から4日の3日間会議に出席しました。松井会長は2日の開会式でスピーチを行い、為政者の核兵器廃絶に向けたリーダーシップを求めるとともに、広島と長崎への訪問を呼び掛けました。

また、開会式前に被爆樹木の苗木贈呈式を行い、核兵器のない平和な世界の実現を願うヒロシマからのメッセージを伝えたほか、滞在期間中、国連・各国政府・NGO等の関係者との意見交換を行いました。

同作業部会における松井会長の活動の詳細及び発言内容については、以下のリンクをご覧ください。

▼「多国間核軍縮交渉の前進に関する公開作業部会」参加について（平和首長会議ウェブサイト）：

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/gallery/201605\\_OEWG/index.html](http://www.mayorsforpeace.org/jp/gallery/201605_OEWG/index.html)

=====

#### ◆オバマ米国大統領の広島訪問が発表されました

=====

5月10日、日米両国政府は、オバマ米国大統領が主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）に出席したあと、5月27日に広島を訪問すると発表しました。オバマ氏は現職の米国大統領として初めて被爆地を訪れることとなります。

この発表を受け、広島市長は「この度の大統領の理性と良心に基づく英断を心から歓迎する」とコメントした上で、「大統領には、平和記念公園において被爆の実相に触れ、被爆者の体験や平和を願う『ヒロシマの心』を共有していただきたい」と述べています。

平和首長会議としても、この度のオバマ大統領の広島訪問が、核兵器廃絶に向けた国際的な動きを前進させる歴史的な出発点となることを期待しています。

=====

### ◆ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第19回）

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====

被爆70年の昨年、広島市を訪れて原爆資料館を見学した外国人は33万人を上回り、過去最多となりました。関心を持つ人が海外でも増えていることの証しでしょう。心強いと思う反面、ヒロシマについて、もっと多くの人たちに知ってもらわないといけないと叱咤（しった）激励されているようにも感じます。核兵器の被害を知ってもらえれば、それがいかに非人道的な兵器か、理解してもらえるはずです。そして、そうした武器を使ってもいいのか、そもそも保有自体を許していいのか、問い掛けることにもつながります。

4月の先進7カ国（G7）の外務大臣に続き、5月27日には、米国のオバマ大統領が広島を訪れます。広島と長崎に原爆が投下されて70年余り、私たちはようやく、歴史的な出来事を目にすることになります。何が起きたのか分からないまま原爆の熱線に焼かれた死者たちや、放射線の影におびえながら暮らしてきた生存者に、オバマ大統領がどんな言葉を投げ掛けるのか、停滞している核兵器廃絶の動きを再稼働させるため、世界にどんなメッセージを発するのか、国際社会が注目しています。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○【解説】オバマ氏広島訪問 覚悟問われるヒロシマ

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=59127>

○緊急連載 オバマ氏広島へ <上> 被爆者の思い

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=59129>

○被爆者、訪問促進に期待 広島市長メッセージ

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=58952>

○広島発 検索サイト 原爆手記70年間で5895冊 研究者ら開設

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=58668>

○外国人入館 最多33万人 広島原爆資料館15年度 全体も増加

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=58602>

（ヒロシマ平和メディアセンター提供）

=====

### ◆加盟都市の活動紹介

=====

-----

\*三鷹市（東京都）

「みたかデジタル平和資料館」開設のお知らせ

-----

三鷹市は、「戦後70年三鷹市非核・平和関連事業」の一環として、特設サイト「みたかデジタル平和資料館～戦争の記憶と平和への願いを次世代が受け継ぐために～」を平成28年2月に開設しました。市民から提供された戦争遺品や戦争体験談を中心に、戦争の惨禍や当時の生活を伝える資料を掲載するとともに、市内の小学生が描いた平和の絵や三鷹市の平和事業、市内の戦跡などについて紹介しているサイトです。

▼「みたかデジタル平和資料館」（三鷹市ホームページ）：

<http://www.city.mitaka.tokyo.jp/heiwa/>

-----

\*フリマントル市（オーストラリア）

長崎市に平和モニュメントを寄贈

-----  
4月16日～20日、平和首長会議リーダー都市であるフリマントル市を中心とする平和首長会議西オーストラリア支部代表団が長崎市を訪問しました。4月18日には、アボリジニ芸術家が制作した平和モニュメントが寄贈され、除幕式が行われました。また、一行は4月20～22日、広島市を訪問し、平和記念資料館の見学、被爆体験証言の聴講等を行いました。

▼平和モニュメント除幕式の様子（フェイスブック「長崎市の平和・原爆」）：  
<https://www.facebook.com/nagasakipeace/posts/991217417599198>

▼加盟都市の活動（平和首長会議ウェブサイト）：  
<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/memberscity/index.html>

<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議ホームページの「加盟都市の活動」コーナーに掲載する情報をお待ちしています。貴自治体における平和に関する様々な事業の情報をぜひお知らせください。

貴自治体のホームページにリンクする形でご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

=====  
**◆平和首長会議情報システムについてのご案内**  
=====

平和首長会議では、加盟自治体間の情報共有促進を目的として、「平和首長会議情報システム」を運用しています。このシステムを利用して、各加盟自治体の情報の検索、各自治体の情報の更新等をしていただくことが可能です。平和首長会議の活動のために本システムを積極的に利用していただければ幸いです。

なお、首長や担当者の氏名・連絡先等、システムに登録している情報に変更が生じた場合は、平和首長会議事務局に修正依頼するのではなく、本システムにログインし、速やかに修正してください。各自治体の情報を常に最新のものに更新していただきますようお願いいたします。

システムの利用方法等については別途メールでお知らせしています。まだシステムを利用したことがない自治体の担当者の方は是非一度ログインしてみてください。

▼システムのURL: <https://www.mfpinfosys.org/>

平和首長会議情報システムに関するご質問等があれば、次のアドレスにお問い合わせください。

▼Email: [mfpsystem@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mfpsystem@pcf.city.hiroshima.jp)

=====  
**◆平和首長会議メンバーシップ納付金に御協力をお願いします**  
=====

平和首長会議では、平成25年8月の第8回総会において、今後の活動を活発化し、より連帯意識の強化を図ることを目的に、メンバーシップ納付金制度の導入を決定し、昨年度から1自治体当たり年額2,000円の負担をお願いしています。

加盟自治体の皆様へは、本年4月1日付けで請求書等を郵送しております。請求書の納付期限は6月30日（木）となっておりますので、御対応のほどよろしくお願いいたします。また、納付が困難な自治体の皆様におかれましては、その旨を御連絡いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、仮に納付金を負担しない自治体があったとしても、その自治体に離脱を求めることはしない旨、第8回総会で決定していますので、そうした場合でも、引き続き平和首長会議に加盟していただき、住民の方々の平和な生活を守るため、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向け共に行動していただければ幸いです。

皆様の御協力をお願いいたします。

▼Email: [kokunai-mfp@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:kokunai-mfp@pcf.city.hiroshima.jp)

▼FAX: 082-242-7452

=====

**◆被爆樹木の苗木等の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内**

=====

平和首長会議では、平成 25 年 8 月の第 8 回総会において策定された行動計画の具体的取組である被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業を平成 26 年度から開始しました。

4 月 1 日から 30 日までに、愛知県岩倉市にアオギリの苗を配付しました。

被爆樹木の苗木又は「平和の灯」の受け入れを希望される場合、所定の申請書を E メール又は FAX にて事務局までお送りください。

※被爆樹木の苗木の配付については、配付本数に限りがあるため、万一不足することになった場合は翌年度以降の送付となりますので、あらかじめご了承ください。

※両事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: kokunai-mfp@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

=====

**◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！**

=====

平和首長会議では、第 8 回総会において策定された行動計画に沿った取組として、平和首長会議原爆ポスター展に国内外の加盟都市を挙げて取り組んでいます。

引き続き、ポスター展の開催にご協力ください。

※ポスター概要：標準サイズ A2 版、18 枚

▼ポスター展の詳細及びポスターのダウンロード

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/projects/poster/index.html>

=====

**◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！**

=====

2020 年までの核兵器廃絶を実現するために最も効果的な方法は、世界のすべての国が「核兵器禁止条約」を締結することです。「核兵器禁止条約」とは、核兵器の製造、保有、使用等を全面的に禁止する条約です。

皆様のご協力により、2016 年 5 月 1 日現在、2,269,613 筆の署名が集まっています。

今後とも、全加盟都市を挙げて積極的に署名活動を展開しましょう。

(署名はインターネットからも可能です。)

▼署名用紙 (PDF)

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01\\_monthly Updating/11\\_petitionform\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly Updating/11_petitionform_jp.pdf)

▼オンライン署名

<https://www.ssl-z.city.hiroshima.jp/pcf/jp/form.htm>

▼関連情報：広島市の市民署名活動の展開

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1333414321137/index.html>

=====

**◆4 月の平和首長会議会長訪問**

=====

松井一實広島市長・平和首長会議会長は、4 月に次のような来訪者の表敬訪問を受けました。その際に平和首長会議の取組及び加盟要請への協力をお願いしました。

\* 4 月 7 日 (木) オーストリア国会壇日友好議員連盟議員団一行

\* 4 月 18 日 (月) 香川剛廣 駐エジプト日本国特命全権大使

=====

**◆平和首長会議加盟自治体数：161 カ国・地域 7,042 自治体**

=====

5 月に新たに 14 自治体が加盟し、平和首長会議の加盟自治体数は 5 月 1 日現在で 7,042 (161 カ国・地域) となりました。皆様の御協力に心から感謝申し上げます。

日本国内では、福島県郡山市等 5 自治体 (3 市 2 町) が加盟し、国内加盟数は 1,625 (加盟率 93.3%) となりました。今回、横須賀市の加盟により、神奈川県内の全自治体が平和首長会議に加盟しました。これにより、1 府 26 県において全自治体が加盟したことになります。(秋田県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、岐阜県、三重県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、大分県、宮崎県、鹿児島県)

海外については、平和首長会議副会長都市であるフォンゴ・トンゴ市 (カメルーン) の呼び掛けにより、3 自治体が加盟しました。これにより、カメルーンの新加盟自治体数は 97 となりました。この他、ドイツから 2 自治体、アメリカ合衆国、イタリア、オランダ、カナダから各 1 自治体が加盟しました。引き続き近隣未加盟自治体や姉妹都市への働き掛けなど皆様の御協力をよろしくお願い致します。

▼5 月 1 日付新規加盟自治体一覧(PDF)

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2016/newmembers1605\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2016/newmembers1605_jp.pdf)

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

\*\*\*本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください\*\*\*

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町 1-5

(公財) 広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL:082-242-7821 FAX:082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp